

令和 3 年笛吹市議会第 4 回定例会

令和 3 年笛吹市議会第 4 回定例会の開会に当たり、提出した案件につきまして、その概要を御説明申し上げますとともに、前回定例会以降の行政運営の状況について申し述べ、議員各位並びに市民の皆様に御理解を賜りたいと存じます。

フジヤマ

はじめに、新道峠展望台FUJIYAMAツインテラスについてです。

フジヤマ

7 月 31 日に供用開始となったFUJIYAMAツインテラスは、新型コロナウイルスの感染拡大の影響による、8 月 9 日から 9 月 30 日までの閉鎖期間を除いた、約 2 か月間のみ開放となりましたが、ツインテラスから眺める富士山の絶景を見るため、複数回訪れる方も見受けられるなど、市内外から約 1 万 4 千人の観光客が訪れました。

ツインテラスまでの送迎バスは、林道が冬季閉鎖期間に入ったことにより、11 月 29 日以降の運行を中止しましたが、来年度は、4 月下旬から再開する予定です。

多くの方に FUJIYAMA ツインテラスを訪れていただけるよう、更なる周知を図っていきます。

次に、ハートフルタウン笛吹！商品券についてです。

市民生活の応援とともに、市内事業者の支援として、市民の皆様に配布した、中小規模事業者で利用が可能な 7,000 円分、全事業者で利用が可能な 3,000 円分、合計 10,000 円分の「ハートフルタウン笛吹！商品券」は、12 月 1 日から 2 月 28 日まで、市内の登録店舗で利用できます。

11 月 30 日現在、商品券が利用可能な登録店舗は 708 店舗となっていますので、市民の皆様のご利便性が向上するよう、引き続き登録店舗の増加を図っていきます。

クリスマス イン

次に、Xmas花火 in 笛吹～聖なる夜の冬花火～の実施についてです。

本年の石和温泉花火大会は、7 月 24 日から 8 月 21 日までの毎週土曜日に 5 回開催する予定でしたが、新型コロナウイルスの新規感染者の急激な増加に伴い、山梨県がまん延防止等重点措置の対象となったことなどを受け、8 月 7 日以降分を延期しました。

クリスマス イン

延期した分について、12 月 24 日と 25 日の 2 日間、Xmas花火 in 笛吹～聖なる夜の冬花火～として、市役所前の笛吹川河川敷において、両日とも約 1,000 発の花火を打ち上げます。皆様には、マスクの着用、密を避けるなどの基本的な感染対策を行いながら、御家族、御友人、恋人などと一緒に、冬花火をお楽しみいただきたいと思います。

次に、笛吹市農業塾についてです。

本年4月1日に市役所本館1階に移転した笛吹市農業塾は、市と農業塾の連携を強固にし、農業に関わる様々な相談やニーズに迅速に対応しています。

加えて、11月末から12月中旬まで開催予定の果樹剪定講習会には、昨年度の申込者数が延べ390人だったのに対し、今年度は延べ945人が申し込むなど、利用者も大幅に増加しています。

今後も農業に携わる方が利用しやすく、役立つ農業塾となるよう、積極的に取り組んでいきます。

次に、多目的芝生グラウンドの整備に係る検討についてです。

今年度、多目的芝生グラウンドの整備に向けた基本計画を策定することとし、学識経験者や関係団体の代表者など、12人で構成する笛吹市多目的芝生グラウンド整備基本計画検討委員会を、10月11日に設置し、基本計画の策定に関する調査検討について諮問しました。また、検討委員会については、同日に第1回を、11月8日に第2回、11月15日に第3回を開催しました。

検討内容については、議員の皆様に適時御説明しながら、1月には、これまでに検討してきた基本計画の内容について、市民の皆様と意見交換をする機会を設けるとともに、より広く御意見を募集するため、同時期にパブリックコメントを実施する予定です。

次に、第34回山梨県下市町村対抗グラウンドゴルフ大会及び第44回山日^きYBS旗争奪山梨縣市町村対抗壮年男子ソフトボール大会の結果についてです。

10月17日に開催されたグラウンドゴルフ大会は、本市から4チームが出場した結果、笛吹Aチームが見事に優勝し、3連覇を果たしました。

また、10月30日に決勝戦が行われた壮年男子ソフトボール大会は、2連覇を目指した笛吹Aチームが、決勝戦まで勝ち進んだものの、惜しくも敗れ準優勝となりました。

両大会とも選手の皆さんは持てる力を十分に発揮し、見事な成績を収めました。来年も御活躍されますよう期待しています。

次に、第25回全国小学生・中学生俳句会についてです。

今年の俳句会には、45都道府県の小中学校563校から3万6,175句の作品が寄せられました。

12月18日には、いちのみや桃の里ふれあい文化館において表彰式を開催し、文部科学

大臣賞のほか、今回、新たに創設した、蛇笏・龍^{だこつ・りゅうた}太特別賞などの入賞作品を発表しま

す。

次に、保育所等の入所申請における業務効率化についてです。

今年度の保育所等の入所申請は、従来の紙による申請と併せ、スマートフォンやパソコンを使ったインターネットによる電子申請を始めました。また、紙による申請であっても、人工知能を使い、申請内容をデータ化した上で、自動処理する仕組みを導入し、業務の効率化を図っています。

今後は、保育所等の入所申請だけでなく、様々な手続きで業務の効率化が図られるよう取り組んでいきます。

次に、石和西小学校学童保育クラブについてです。

利用児童数の増加に伴い、これまで、学童保育室のほかに学校の教室も使用しながら、運営してきた石和西小学校学童保育クラブですが、学校の教室としての機能回復、運営の効率性、利用児童等の利便性及び安全性の向上を図るため、旧学校給食棟を活用し、学童保育室を3室整備しました。

今後は、11月22日から供用開始となった学童保育室で、児童たちの健全な育成が図られるよう努めていきます。

次に、教育支援センターの設置についてです。

不登校児童生徒への支援として、集団生活への適応、情緒の安定、基礎学力の補充、基本的な生活習慣の改善等のための相談や指導を行い、社会的自立を促すための教育支援センターは、市町村が主体的に整備し、その充実を図ることが必要とされていることから、本市では、令和4年4月からの設置に向け取り組んでいます。

令和3年12月3日

笛吹市長 山下 政樹